

## 第13回「魅力アップセミナー」正しく認知症を学ぶ

第13回「魅力アップセミナー」がこのほど、なんぴあ本館で開かれました。萩原智代さん（日本赤十字秋田看護大学講師、公衆衛生看護学）が「正しく認知症を知り、健やかな心身を保とう～フレイル予防を知っていますか～」と題して講演し、80人が熱心に耳を傾けました。萩原さんは、認知症が加齢によるものではなく、病気であると説明した上で、栄養バランスを考えた食事や適度な運動の大切さを訴えました。また、思いやりの気持ちを持って対応することがプライドを傷つけずに接するコツであることを紹介しました。



萩原さんの講演に耳を傾けた第13回「魅力アップセミナー」3月6日開催

### 令和3年度 南部地域づくり協議会理事・監事一覧

| 役職   | 氏名    | 地区    | 担当          |
|------|-------|-------|-------------|
| 会長   | 佐藤 義明 | 御野場   | 総括          |
| 副会長  | 川村 良喜 | 四ツ小屋  | 総務          |
| 副会長  | 千田 典夫 | 牛島    | 広報・企画       |
| 常任理事 | 工藤 等  | 上北手   | まちづくり       |
| 常任理事 | 進藤 征喜 | 大住    | 企画委員長       |
| 常任理事 | 多田 正明 | 御所野   | まちづくり       |
| 常任理事 | 相場 隆  | 仁井田   | まちづくり       |
| 理事   | 鈴木 久美 | 牛島    | 広報委員長・まちづくり |
| 理事   | 高橋 信好 | 牛島    | 企画・まつり委員長   |
| 理事   | 佐藤 修  | 御所野   | 企画          |
| 理事   | 住吉 栄悦 | 御所野   | 広報          |
| 理事   | 大縄 聖  | 御野場   | まちづくり       |
| 理事   | 植村 和夫 | 御野場   | まつり         |
| 理事   | 新田 宏光 | 四ツ小屋  | 広報          |
| 理事   | 榎 昌範  | 四ツ小屋  | 企画・まちづくり委員長 |
| 理事   | 鎌田 悦雄 | 上北手   | 企画          |
| 理事   | 浅利 吉晴 | 上北手   | まつり         |
| 理事   | 鈴木 兼夫 | 仁井田   | 広報          |
| 理事   | 新田 英明 | 仁井田   | まつり         |
| 理事   | 戸嶋 元美 | 大住    | まちづくり       |
| 理事   | 吉成 勉  | 大住    | 広報          |
| 理事   | 三浦 喜夫 | 市民憲章  | まちづくり       |
| 理事   | 古井 誠  | 体協    | 企画          |
| 理事   | 平塚 和博 | 子育て支援 | 広報          |
| 理事   | 伊藤 榮二 | サークル  | まつり実行委員長    |
| 監事   | 酒田 静雄 | 上北手   |             |
| 監事   | 平野 貢則 | 大住    |             |

南部地域づくり協議会の令和3年度第1回理事会が5月21日、南部市民サービスセンター（なんぴあ本館）地域文化ホールで開催されました。各地区推薦理事、各種団体推薦理事、監事ら約30人が出席。任期満了に伴う役員改選で会長に佐藤義明氏、副会長に川村良喜、千田典夫の両氏をそれぞれ再任したほか、企画委員会、広報委員会、まちづくり検討委員会などの役割分担を決めました。3年度の理事担当委員会などは右の名簿の通りです。

### 南部地域づくり協議会理事会

## 佐藤会長ら再任



### 「1,639人との縁」

なんぴあの利用者は男性3割、女性7割で、全体の74.6%は60歳以上（60代24.2%、70歳以上50.4%）——。

1-3月に本館（御野場）、別館（牛島）で行ったアンケートで分かった数字です。健康寿命の長い、活発な人たちが集う場であることがうかがえます。

令和3年度の登録サークルは135（本館61、別館74）で、会員は1,639人（本館790人、別館849人）。このうち60サークルは多目的ホールを利用する“スポーツ選手”。活動ぶりはまるで青春の第2幕、あるいは第3幕を楽しんでいるかのようです。

なんぴあ本館と別館の事務局に4月から2人（写真左・右）が加わり、新体制となりました。なんぴあが新型コロナウイルスワクチン接種会場となったため、お目にかかる機会は少なくなっていますが、マスクをせずにみんなと笑い合える日がやってくることを楽しみにしています。



事務局長  
藤原 謙（本館）



事務局長補佐  
永井 暁（別館）

感謝申し上げます。（広報委員長 鈴木久美）

第14号発行にあたり、ご寄稿いただいた皆様から愛読されますよう、スタッフ一同試行錯誤しながら取り組んで参りますのでよろしくお願いいたします。

「なんぴあだより」は、南部地域づくり協議会の情報提供や各地域の活動等を紹介しています。地域の皆様から愛読されますよう、スタッフ一同試行錯誤しながら取り組んで参りますのでよろしくお願いいたします。

### 編集後記

# なんぴあだより

第14号

発行：令和3年6月30日 南部地域づくり協議会

## 新たな企画事業への取り組み

南部地域づくり協議会  
会長 佐藤 義明



南部地域の皆様におかれましては、緊急事態宣言、まん延防止等重点措置の発出等により、不安な日々を送られていることとご推察申し上げます。本県では新規感染者数が減少し、ワクチン接種も徐々に進捗しつつあります。やっと、長いトンネルの出口が見えてきたような気がいたします。

南部地域づくり協議会は活動を始めてから7年が経過し、私自身は会長に就任してから4期目を迎えたところでありました。これまで、コロナの影響を受けながらも「できるものはやろう」との思いで企画事業を推進してまいりました。事務局、理事のメンバーも一新され、心新たに職員共々、今までにない事業に取り組んで参りたいと思います。日本赤十字秋田看護大学との連携事業、地域まちづくり専門員による定期刊行物「まちある記」など、地域の皆様のご理解ご協力をいただきながら実施してまいります。元通りの平穏な日々を一日でも早く戻すことを期待しながら、ご挨拶いたします。

## 就任あいさつ

南部市民サービスセンター  
所長 高橋 和也



南部地域の皆様、はじめまして。

日頃より皆様には、身近な行政サービスを提供する場としてセンター本館を、また、軽スポーツ、文化活動や地域の自治活動にセンター本館、別館、および地区コミュニティセンターをご利用いただき、厚く御礼申し上げます。

さて、今年度スタートした本市県都『あきた』創生プランは、市民の皆様と、ともに「創り、ともに「生」きるための計画であります。目指す方向性の1つに、家族の絆・地域の絆・人と人との絆のもと、すべての市民が主人公と尊重され、充実した生涯を送ることができる「家族と地域が支えあう元気なまち」が掲げられております。

南部地域の皆様はもとより、南部地域づくり協議会の皆様、そして各地区のコミュニティセンター管理運営委員会の皆様と当センター職員とが一体となって、「地域の絆」や「地域づくり」に取り組み、支えあう元気なまちの実現を図りたいと考えておりますので、どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

## 「今日もてくてく まちある記」

地域まちづくり専門員 吉川 ひかる



秋田市の「地域まちづくり専門員」は現在、中央・東部・南部の3か所に配置されています。南部には7つの地区があり、各地区に誇るべき伝統の食や文化、芸能、風景などがあります。しかし、自分の生活エリアはもちろん、近隣の地区に至っては、毎日の生活に溶け込んでしまい「知らない」「あたり前」になっていることが少なくないのではないのでしょうか。特にコロナ禍の今、私達の生活、コミュニティは足踏み状態です。そのような時だからこそ地域内の伝統や魅力、活用方法を再確認し、つなぎ合わせ、「地域の可能性を引き出し」「毎日の生活に面白さを見出すお手伝い」をすることが地域まちづくり専門員の使命と思い活動しております。

まずは、南部地域の魅力を共有出来たらと思い、月に1度「今日もてくてく まちある記」という新聞の発行を始めました。南部地域のコミセンに常備していますので、ぜひご覧ください。

まずは、南部地域の魅力を共有出来たらと思い、月に1度「今日もてくてく まちある記」という新聞の発行を始めました。南部地域のコミセンに常備していますので、ぜひご覧ください。



# 各地区の話題・活動報告

## 仁井田地区

### 秋田市地域おこし協力隊員の秋田蒔刈り体験

仁井田地区振興会  
副会長 鈴木 兼夫



秋田市の地域おこし協力隊員5人が秋田蒔の刈り体験をしました。会場は昨年オープンした仁井田地区コミュニティセンター敷地内の秋田蒔の畑。5人のうち女性隊員3名は、仁井田伝統芸能保存会員の協力で紺・もんぺの「おばこ姿」に着替えての挑戦でした。自分の背丈ほどに生育した秋田蒔の大きさと茎の太さにびっくりした姿は、会場にいた仁井田地区振興会役員の笑いを誘っていました。

蒔刈り体験は実は、伝統行事「大路まつり」の中止に伴って開かれたものです。秋田市が「新型コロナ」の警戒レベル4となったことから仁井田地区振興会三役で協議、中止することに決めていました。しかし、協力隊員の重久愛さんが協力隊員による秋田蒔刈り体験を要望、地区振興会が協力の約束をして実現しました。

コミセンの蒔畑は昨年、仁井田地区振興会が取り組んだ令和2年度秋田市地域づくり交付金事業の「秋田大蒔植栽事業」として秋田市が経費助成、整備したもので、重久さんは2年前にも秋田蒔刈りを経験しています。

## 牛島地区

太平川観桜実行委員会  
会長 三浦 喜夫

### 地域の誇り 太平川の桜

「大空うつつ流れいく 太平川の水すむところ きよくやさしく伸びる子われら 日本の栄えをにないつつ ひとみかがやき楽しくはげむ われらの光 牛島小学校」と校歌に歌われている太平川。

その太平川沿いに、皇太子殿下ご成婚記念、浩宮さまご生誕記念として植樹された桜が大樹となり、壮大な桜並木が延々と万朶の桜花を川面に映しています。県内屈指の桜の名所として、多くの市民・県民に愛されています。

「地域の活性化と発展を図り、次代を担う子供たちには大きな夢と希望を育むと共に、ふる里観の醸成を期し、明るく豊かなコミュニティを築くこと」を目的に、昭和61年から「太平川観桜会」を実施しています。



## 大住地区

### 大住地区自主防災連絡協議会の活動について

大住地区自主防災連絡協議会  
会長 吉成 勉



大住地区自主防災連絡協議会は、学区内の各種団体の協力を得ながら「隣保共同の精神に基づく自主的な防災活動の推進」や「地区内の連携を密にし、地域防災体制の充実強化を図る」ことを目的に活動しています。

例年春は初期消火訓練や応急処置訓練を、秋は避難支援プランに基づくリヤカーや車椅子または徒歩（付添人と一緒）などによる避難訓練を中心に、基本的訓練を繰り返し実施しています。大住学区町内会長連絡協議会との合同研修会として2～3年に一度、県防災学習館（由利本荘市岩城）

で地震や火災煙中避難体験学習も行っています。また、春と秋の火災予防週間には防火・防災に関するチラシの全戸配布や各町内での「火の用心」の旗の掲示を行い、啓蒙に努めています。

昨年度は新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、恒例の訓練等は中止せざるを得ませんでしたが、今後も関係機関と連携しながら避難訓練を中心に実施し、自助、共助の大切さを伝えていきたいと考えています。

## 南部地域 学校適正配置の経緯について

少子高齢化が進む中、地域の学校はどうなるのか。小・中学校の適正配置に関して協議が秋田市内の各地で行われています。小・中学校は地域にとって大きな存在。南部地域は現状のまま推移します。これまでの経緯を紹介します。

市内の協議は「秋田市小・中学校適正配置基本方針<sup>(※1)</sup>」に基づいて7地域でスタートしました。南部地域では令和元年8月に第1回南部地域ブロック協議会<sup>(※2)</sup>が開かれ、学校統合の方向性(学校の組み合わせ)などを議題に計5回、議論されました。第2回協議会段階で「中学校は現行の3校のままとする」ことが決まり、第3回からは「小学校を4校にすること」が審議されました。

直近の協議会は今年2月22日(第5回)に行われました。「早急に統合する必要はない」などの意見が出され、「南部地域ブロック協議会」は一旦休止することとし、引き続き児童数の推移を見ながら、5年後を目途に協議の再開を検討することが決まりました。他地域では学校統合に向けて協議が進んでいますが、南部地域は今後5年間、現状のまま推移し、小学校の統合の方向性については引き続き協議を行うこととなっています。

※1 秋田市小・中学校適正配置基本方針 = 平成31年3月策定。南部地域は小学校が牛島、仁井田、四ツ小屋、上北手、大住、御所野の6校、中学校は城南、御野場、御所野学院の3校があり、将来の望ましい学校数の上限を「小学校は5校、中学校は3校」としている。

※2 南部地域ブロック協議会 = 地区振興会長、連合町内会長、9小・中学校PTA会長ら20人で構成されている。

## なんぴあ本館・別館 ワクチン接種会場に

南部市民サービスセンターのなんぴあ本館となんぴあ別館が現在、新型コロナウイルスワクチンの集団接種会場となっています。多目的ホールは終日、サークル活動などでの利用はできませんが、それ以外の施設は利用できる日がありますので、ご利用の際はお問い合わせください。



なお、接種日によっては400人近くの方が訪れることがあります。車の運転などにはくれぐれもお気を付けください。

## 秋田スポーツウエルネス吹矢クラブ (なんぴあ班)

活動日 第1・2・4回 13:00-16:00 本館

日本の吹矢の誕生198年。愛好者は全国で1万人以上と言われています。吹矢は無理なく、楽しく頑張れる奥深いスポーツで、初心者でも4mから、高段者になると10m離れた場所から吹きまします。全国大会、東北大会、秋田県大会、各支部大会、交流大会などさまざまな競技大会があり、実力次第で日本一も可能です。吹矢は今や海外で

## サークル紹介

### 腹式呼吸で健康増進

も普及。実力に応じて段位認定基準制度(12階級)もあります。吹矢は正しい姿勢で腹式呼吸、胸式呼吸を行う全身運動で、健康増進にもつながります。腰痛や便秘改善等にも効果があるという人もいます。秋田スポーツウエルネス吹矢クラブは会員50人、最高齢者は89歳。なんぴあ班は20人で、随時参加者を募集しています。



## 暁(陶芸)

別館 活動日 第1・2・4回 13:00-18:00

メンバーは50代から70代の“素人陶芸家”7人(男性2人、女性5人)。「あでもない、こうでもない」と話しながら作り上げたものの、乾燥したらひびが入ったり、

### 楽しみながら粘土と格闘

形が崩れたり、剥がれたり…。毎回、想像している形になかなか出てくれない反抗期の子供のような粘土と格闘しています。750℃で素焼きし、本焼きは1,230℃。期待と不安が入り混じった気持ちで窯の扉を開け、作品を一個、また一個と作業台に置くと「いい色だね」「なんの釉薬を使ったの」などと大喜び。これがなんぴあ別館の陶芸工作室で活動している「暁」です。

## 本館 【南部地域づくり協議会】

〒010-1424 秋田市御野場一丁目5番1号  
電話 018-838-1211  
FAX 018-829-5311



## 別館

〒010-0062 秋田市牛島東六丁目4番5号  
電話 018-853-5727  
FAX 018-853-5728